

10月18日は「東アジア保険の日」

～新納協会長がメッセージを発信～

日本損害保険協会(会長：新納 啓介)では、情報・意見交換を通して、海外の損害保険市場との相互理解・交流を推進しており、1962年に東京で発足したアジア最大の国際保険会議である「東アジア保険会議」(East Asian Insurance Congress : EAIC)にも、生命保険協会と連携をとって積極的に参画しています。

EAICの定めた「東アジア保険の日」(10月18日)を迎えるにあたり、新納協会長のメッセージ(添付1)を、国内外に向けて発信します。

アジア全体の保険市場が健全な発展を遂げ、社会・経済の発展に貢献していくために、EAICの場で行われている活動について、ご理解いただく一助となれば幸いです。

添付資料

1. 「東アジア保険の日」を迎えて(日本損害保険協会 新納 啓介 会長)
2. EAICの概要



2023年10月18日

「東アジア保険の日」を迎えて

一般社団法人 日本損害保険協会
会長 新納 啓介

東アジア保険会議（East Asian Insurance Congress: EAIC）が定めた「東アジア保険の日」（10月18日）の17周年を迎えるにあたり、日本損害保険協会を代表してご挨拶を申し上げます。

はじめに、自然災害の被害に遭われた各国・地域の方々に対して心よりお見舞いを申し上げます。
また、被災地での救助・復旧活動等に携わられた方々に敬意を表します。

EAICは1962年10月18日に発足し、第1回東京大会における海外からの参加者はわずか20数名程度であったものの、近年では世界23ヵ国・地域から多数の保険関係者が集まるアジア最大の保険会議へと発展しています。

そうした歩みを進める中、2006年には、東アジアの各国・地域における保険の果たす役割・重要性やEAICの活動への理解促進に取り組むことを目的として、「東アジア保険の日」が制定されました。「東アジア保険の日」は、保険セクターの重要性や役割を改めて考えるきっかけの一つとして、重要な意味を有していると認識しております。

また、当協会は、国連貿易開発会議（UNCTAD）の勧告とEAICからの開催要請を受け、東アジア各国・地域の保険業に携わる方々を対象とした国際的保険技術支援プログラムであるISJを1972年から毎年開催しています。東アジア各国・地域の保険業に携わる方々のお役に立ちたいという目的から発足したISJは長い歴史の中で約2,270名の卒業生を輩出し、参加各国・地域の保険関係者から高い評価をいただいております。

当協会では、「東アジア保険の日」をより価値のあるものにすべく、保険の果たす役割・重要性やEAICの活動に対する理解を広く周知する観点から、引き続き次のような取組みを推進してまいります。



1. ホームページ、保険業界紙を通じた広報活動
2. ISJ 卒業生のネットワークを活用した、東アジア保険の日の祝賀および次回 EAIC 大会への参加呼びかけ

一方、我々損害保険業界は、事故や災害時の損失補償という損害保険の本来の機能の発揮に加え、防災・減災の取組み、デジタル・トランスフォーメーションへの取組みなどを通じて、安心・安全な社会の実現に資することを使命としています。

そうした中、気候変動による深刻な影響や世界規模で激甚化・頻発化する自然災害など、私たちは、これまで経験したことの無いような様々なリスクに直面しています。環境変化が激しく、先が見通せない時代だからこそ、当協会としては、「自然災害や社会・経済におけるリスクへの対応」という損害保険の本来機能をこれまで以上に発揮し、将来世代のためのレジリエントな社会の構築に尽力していく必要があると考えております。そのような使命感の下、我が国の損害保険や防災・減災などに関する知見・経験を共有することは、被害に対する補償の仕組みの構築を後押しする観点に加え、被害そのものの未然防止や軽減を図る観点から意義のあることと考えております。今年度には、その具体的施策として、当協会のアジア地域における損害保険事業の発展に向けた貢献として以下2点に取り組みます。

- ・中長期的な視点に立った、アジア地域における健全でレジリエントな保険制度構築に貢献するため、適正な資本規制の導入、リスク管理、保険引受、保険金支払適正化の制度構築などに向けたノウハウを提供します。
- ・ISJのカリキュラム等を通じ、自然災害リスクに対する日本の損害保険に関わる様々なノウハウを提供します。

最後となりますが、この東アジア保険の日が、東アジア各国・地域の保険業界で働く皆さまにとって、社会課題の解決に向けて保険機能が果たすべき役割や、EAICを通じた東アジア各国・地域間の協力の重要性を見つめ直すきっかけとなることを心より願っております。今後の東アジアの保険市場の益々の発展を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

以上

EAICとは？

- East Asian Insurance Congressの略で、和文では「東アジア保険会議」といいます。
- EAICは、1962年に東京で発足したアジア最大の生損保合同の国際保険会議で、アジアの保険市場における「国際協力の促進と発展」を目的としております。
- 第1回東京大会の海外からの参加者はわずか20数名程度でしたが、近年では、世界23カ国・地域から多数の保険関係者が集まる国際会議に発展しております。各市場の抱える共通の課題解決のための論議の場として、重要な役割を果たしています。
- 日本損害保険協会では、EAIC理事会メンバーへの就任や、大会へのスピーカー派遣等を通して、EAICに積極的に参画し、アジアの各保険市場との情報・意見交換、交流促進を図っております。



EAICメンバー地域

正会員(12地域)

バンドルスリブガワン、バンコク、香港、
ジャカルタ、クアラルンプール、マカオ、マニラ、
プノンペン、ソウル、シンガポール、台北、東京

準会員(11地域)

オーストラリア、バングラデッシュ、ブータン、デンマーク、
フィジー、インド、パキスタン、パプアニューギニア、
スリランカ、イギリス、アメリカ

EAIC会員数(2022年8月31日)

	法人会員	個人会員
正会員	914社	560名
準会員	31社	73名
合計	945社	633名





これまでのEAIC大会主催地

回数	開催年	開催地	回数	開催年	開催地
第1回	1962年	東京	第16回	1992年	ジャカルタ
第2回	1964年	マニラ	第17回	1994年	ソウル
第3回	1966年	バンコク	第18回	1996年	シンガポール
第4回	1968年	ソウル	第19回	1998年	マカオ
第5回	1970年	台北	第20回	2000年	マニラ
第6回	1972年	クアラルンプール	第21回	2002年	東京
第7回	1974年	ジャカルタ	第22回	2004年	バンコク
第8回	1976年	ソウル	第23回	2006年	バンドルスリブガワン
第9回	1978年	シンガポール	第24回	2008年	香港
第10回	1980年	マニラ	第25回	2010年	ジャカルタ
第11回	1982年	東京	第26回	2012年	クアラルンプール
第12回	1984年	バンコク	第27回	2014年	台北
第13回	1986年	香港	第28回	2016年	マカオ
第14回	1988年	クアラルンプール	第29回	2018年	マニラ
第15回	1990年	台北	第30回	2022年※	ソウル

※2020年に予定されていたソウル大会は、新型コロナウイルス拡散防止の観点から2022年に延期され、その後中止が決定された後、EAIC60周年記念大会としてバーチャルで開催された。

※EAICは2年毎に開催され、開催都市は、原則メンバー地域のローテーションで決まる。

※2024年は香港で、2026年は東京で開催される予定である。

最近のEAIC東京代表理事



任 期	大会主催地	東京代表理事（敬称略）	
1986年－1988年	クアラルンプール	高橋 壽常	日本生命副社長
1988年－1990年	台北	石川 武	大正海上会長
1990年－1992年	ジャカルタ	西尾 信一	第一生命会長
1992年－1994年	ソウル	有吉 孝一	安田火災社長
1994年－1996年	シンガポール	若原 泰之	朝日生命会長
1996年－1998年	マカオ	小野田 隆	住友海上会長
1998年－2000年	マニラ	金子 亮太郎	明治生命社長
2000年－2002年	東京	樋口 公啓	東京海上会長
2002年－2004年	バンコク	吉野 泰生	住友生命会長
2004年－2006年	バンドルスリブガワン	松澤 建	日本興亜損保社長
2006年－2008年	香港	石橋 三洋	日本生命副会長
2008年－2010年	ジャカルタ	佐藤 正敏	損保ジャパン会長
2010年－2012年	クアラルンプール	斎藤 勝利	第一生命会長
2012年－2014年	台北	鈴木 久仁	あいおいニッセイ同和社長
2014年－2016年	マカオ	根岸 秋男	明治安田生命社長
2016年－2018年	マニラ	北沢 利文	東京海上日動社長
2018年－2022年	ソウル	橋本 雅博	住友生命社社長
		高田 幸徳	(同上。社長就任により交代)
2022年－2024年	香港	松曳 真一郎	三井住友海上社長

- ※1. EAICの東京代表理事は、1986年以降、生損保両業界から交互に選出することになっている。
 2. 東京代表理事の役職名は当時のものである。

EAIC役員



- President:
Mr. Michael Rellosa(フィリピン保険・再保険協会専務理事)
- Vice President:
Ms. Sally Wan (AXA香港 CEO)
- General Secretary:
田中 将之氏(国際保険振興会 常務理事)
- Auditor:
川越 信氏(日本損害保険協会 経営企画部部長)
- Committee Member(Tokyo):
船曳 真一郎氏(三井住友海上社 取締役社長)

*他のメンバー地域のCommittee Member名は省略

最近のEAIC大会テーマ



- **第19回マカオ大会(1998年)**
“Global Socio-Economic and Environmental Changes – What Impact on East Asian Insurers?”
(世界的な社会経済と環境の変化は東アジアの保険者にどのような影響をもたらすのか)
- **第20回マニラ大会(2000年)**
“Rebounding from the Asian Financial Crisis: Strategies for Continued Growth”
(アジア金融危機からの回復 – 絶え間ない成長のための戦略)
- **第21回東京大会(2002年)**
“Challenges and Opportunities for Insurance in the Changing World of Financial Services”
(金融サービス変革期における保険業界の挑戦と可能性)
- **第22回バンコック大会(2004年)**
“Asian Insurers in the New Financial Environment”
(新たな金融環境下におけるアジアの保険者)
- **第23回バンドルスリプガワン大会(2006年)**
“East Asian Insurance at the Crossroads of Growth and Profitability”
(成長と収益性の岐路に立つ東アジア保険業界)
- **第24回香港大会(2008年)**
“Staying Ahead? – East Asian Insurers in the Era of Global Challenges ”
(世界的な経済危機の中で、東アジアの保険会社は、一步踏み出すことができるのか)
- **第25回バリ大会(2010年)**
“Going Back to Basics with a Dynamic New Mindset in Insurance ”
(新たな革新的視点を持って基本に立ち返る)
- **第26回クアラルンプール大会(2012年)**
“Transforming the East Asian Insurers – Time for Action Now”
(東アジア保険業界の転換 – 今、行動を起こすとき)
- **第27回台北大会(2014年)**
“Insurance at the Cross Roads – Coping wit the Change”
(岐路に立つ保険 – 変化への対応)
- **第28回マカオ大会(2016年)**
“The Future of Insurance – Customer Centricity”
(保険の未来 – 顧客中心主義)
- **第29回マニラ大会(2018年)**
“Managing Disruptions, Driving Change”
(創造的破壊への対処、変化への推進)